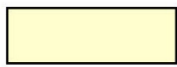


## 完了実績報告書 記入例

この記入例では、入力方法の種類ごとに色分けして説明しています。



黄色は 補助事業者が入力する項目です



緑色は 自動で入力される項目です



青色は 建築士が入力する項目です



桃色は 手書きで記入する項目です



灰色は 事務局で使用する欄です

※この入力シートは提出の必要はありませんが、必ず確認・入力をしてください。入力をしないと他の様式類の計算が正しく表示されません。

＜交付申請番号入力シート＞

- 1 交付申請番号と\*番号を入力してください。

交付申請番号と\*番号は、事業者ポータルシステム「令和3年度長期優良住宅化リフォーム」の上部に記載されています。

認定長期優良住宅型の場合は「2」が付番されています

交付申請番号										管理番号	
年度	事業者番号						住宅番号	*	※支援室記入欄		
03	2	8	X	X	X	X	001	2			

※ここに入力した交付申請番号と\*番号は各様式の上部に反映されます。

※**完業再完** 交付決定通知書に記載されている交付申請番号を転記してください。  
 ※ここに入力がない場合、他の様式類の計算が正しく表示されません。

※完了実績報告後に、上記に入力した補助金交付申請番号や様式内の記載事項の誤記が見つかった場合や、様式の記載事項の修正が必要になった場合は、様式を再度ご提出していただけます。  
 交付申請番号や様式の記入事項に間違いがないか、もう一度確認してください。

- 2 「申請タイプ」「事業タイプ」を確認してください。

申請タイプ	通年申請タイプ
事業タイプ	認定長期優良住宅型

※交付申請時と同じであることを確認してください。  
 異なっている場合は、「●1」で入力した交付申請番号を確認してください。

- 3 注意事項

必ず確認してください

- (1) 提出書類に不足はありませんか。  
 次のシート「提出書類チェックシート（完了実績報告用）」で確認してください。  
 揃っていることを確認したら「チェック欄」に印を付け、完了実績報告書と一緒に提出してください。
- (2) 作成した様式データの最終版は、必ず保存してください。

完了実績報告書（様式11）記入例  
 <認定長期優良住宅型・単価積上方式>

事業者ポータルサイトからダウンロードし印刷してください。

この記入例でセルが緑色になっている部分は自動入力されます。記載に変更がある場合は、支援室にご連絡ください。変更の手続きをご案内します。変更の手続きが終わりましたら、印刷し直してください。

様式11

事業タイプ 認定長期優良住宅型	交付申請番号										管理番号								
	年度	事業者番号						住宅番号				*	※支援室記入欄						
	0	3	-	2	8	X	X	X	X	-	0	0	1	-	2	-			

報告日 令和 3 年 12 月 27 日

長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室 殿

令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業完了実績報告(兼、請求書)

令和 3 年 7 月 31 日 付け03長リ01第 0100-28XXXX-001 号 をもって3  
 標記事業が完了したので、平成3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金交付規  
 則、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

提出する年月日を油性の  
ボールペンで記入してください

また、長期優良住宅化リフォーム推進事業完了実績報告書に基づき、交付す  
 る令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金

交付決定通知書右上の日付、番号  
を記入してください

補助事業者		【リフォーム事業者(法人)】		
法人・個人事業主等の名称	ツカガナ カブシキカイシャ		支店・事業所名	ツカガナ 〇〇支店
代表者	氏名	ツカガナ 〇〇 〇〇	役職等	代表取締役
法人・団体等の住所	〒	123 - 4567	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町▲丁目〇 △ビル〇F	
電話番号	012-345-****	法人番号	123456789****	



交付申請書に押印した印と  
同じ印

交付申請する住宅の所在地等		法人の場合は会社の代表者印です。代表者の個人の印	
住宅の所在地(住居表示)	〒	123 - 4567	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇
建物名称		部屋番号	

工事発注者(共同事業者)		※補助事業者が買取再販業者の場合は記入不要です。	
名称・氏名	ツカガナ ●● 〇〇	安心R住宅	
	●● 〇〇	<input type="checkbox"/> 売主 <input type="checkbox"/> 買主	
住所	〒	123 - 4567	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地
建物名称			

「補助金の交付決定額」は交付決定通知書の  
「交付決定額」、  
「補助金の精算額」は変更がなければ  
「交付決定額」を、変更があれば  
「変更後の補助額」を記入してください

補助金の交付決定額及び精算額	
補助金の交付決定額	2,500 千円
補助金の精算額	2,500 千円

補助事業の実施期間	
令和 3 年 6 月 1 日	～ 令和 3 年 12 月 20 日
↑ 事業者登録日以降の最初の契約日 ↑ 工事完了引き渡し日	

事業者登録日以降の最初の契約日を始期に記入し、  
工事完了引渡し日を終期に記入してください

補助事業の成果
別添書類のとおり

補助金の請求	
請求額	交付すべき補助金の額として、支援室が確定した額とする。
振込先	事業者ポータルサイトに登録した振込口座とする。

- (注意事項)
- 修正液、訂正印での修正はできません。記載事項に誤りがある場合は、事業者登録システムの情報を修正し、再度印刷してください。
  - 記入、押印漏れ、提出書類の不足がある場合は、完了実績報告の受付は行いません。
  - 報告日の記入が漏れていた場合は、完了実績報告書の到着日を報告日として扱います。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

完了実績報告書（様式12）記入例  
 <認定長期優良住宅型・単価積上方式>

・ 交付申請時から一切の変更がない場合でも様式は提出してください。  
 ・ 交付申請時から変更がある場合は、支援室に連絡ください。手続き等をご案内します。

様式12

交付決定時から工事内容・工事費に変更がある場合はチェックをしてください

交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号		
	03	-	2	8	X	X	X	X	-	0	0	1

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

完了実績報告概要書

● 共通

リフォーム工事の変更について(補助対象工事費(工事費、インスペクション等)を含まない追加契約等に基づく工事を除く)

変更の有無 (何れかにチェック)	<input type="checkbox"/> 交付決定時から変更が無い → 以下記入不要	
	<input checked="" type="checkbox"/> 交付決定時から変更がある → 「変更する工事」「工事費の変更」「補助額の変更」の欄の該当する項目にチェックしてください。	
補助対象工事	変更する工事 (該当するものにチェック)	<input type="checkbox"/> 特定性能向上リフォーム工事に関するもの <input checked="" type="checkbox"/> その他性能向上リフォーム工事に関するもの <input type="checkbox"/> 三世帯同居対応改修工事に関するもの <input type="checkbox"/> 子育て世帯向け改修工事に関するもの <input type="checkbox"/> 防災性の向上改修工事に関するもの <input type="checkbox"/> レジリエンス性の向上改修工事に関するもの <input type="checkbox"/> インスペクション等に関するもの
		<input type="checkbox"/> 補助対象工事費の変更無し → 図面を添付 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象工事費の変更有り → 補助率:様式5、5の2、5の3、6、図面を添付 単価:様式8、8の2、8の3、9、図面を添付 変更の契約書、内訳書を添付
		<input type="checkbox"/> 補助対象外工事に関するもの <input type="checkbox"/> 補助対象外工事費の変更無し <input type="checkbox"/> 補助対象外工事費の変更有り → 変更の契約書を添付 補助対象の契約に含む場合は様式6、9に反映
	補助対象外工事	変更する工事 (該当する場合にチェック)
		<input checked="" type="checkbox"/> 変更無し <input type="checkbox"/> 減額の変更有り
	補助額の変更 (何れかにチェック)	

変更がある場合は項目ごとにいずれかをチェックしてください

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

完了実績報告書（様式13）記入例  
 <認定長期優良住宅型・単価積上方式>

様式13

事業タイプ
認定長期優良住宅型

交付申請番号	年度	事業者番号	住宅番号
03-28XXXX-001	03	28XXXX	001

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

建築士による工事内容確認書

本報告に係る住宅リフォーム工事について、交付決定された  
 認し、下記日付の現地確認においてチェックシート※及び様式14の「工事内容の通り実施  
 されていることを確認したことを証明します。

様式11に記載の住宅の所在地と  
 同じであることを確認してください

証明する住宅

住宅の所在地 (住居表示)	〇〇 都道府県 〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇
建物名称	部屋番号

現地でリフォーム工事内容  
 を確認した日を入力  
 してください

共同住宅の場合は、マンション名などの  
 建物名称を入力してください

現地確認日

令和3年6月2日

証明する建築士個人の印です。↓

資格	(一級)建築士(国土交通大臣)登録	第〇〇〇〇〇号
氏名	△△ □□	印
建築士事務所	(一級)建築士事務所(〇〇県)知事登録	第●-〇〇号
建築士事務所名	〇〇株式会社一級建築士事務所	
所在地	〇〇 都道府県 〇〇市〇〇区〇〇町▲丁目〇	

建築士事務所の法人印ではなく  
 建築士の個人印を押印してください

証明する建築士が確認した変更の内容

何れかにチェック	<input type="checkbox"/> 交付決定から変更無し	<input checked="" type="checkbox"/> 交付決定から変更有り →	確認した変更の内容について 以下に具体的に記載してください。
変更の内容	節水型トイレの機器変更 (変更前)AAAAA⇒(変更後)BBBB		

※チェックシート：事業タイプに応じた次の様式の「工事完了時建築士チェック欄」

事業タイプ	チェックシートの様式
評価基準型(単価積上方式)	様式8
評価基準型(補助率方式)	様式5、様式5の2、様式5の3、様式5の4、様式8の3
認定長期優良住宅型(単価積上方式)	様式8の2
認定長期優良住宅型(補助率方式)	様式5、様式5の2、様式5の3、様式5の4
高度省エネルギー型	様式5、様式5の2、様式5の3、様式5の4
提案型(単価積上方式)	様式8
提案型(補助率方式)	様式5、様式5の2、様式5の3、様式5の4、様式8の3

(注意事項)

1. 建築士がリフォーム工事内容を確認し、本事業の工事内容の確認に要す  
 場合は、建築士事務所として登録されている事務所に所属している必要がな  
 2. 建築士が工事内容の確認を実施可能とする住宅は建築士法第3条から第  
 資格ごとに設計・監理できる住宅とします。  
 3. 工事内容確認書を作成するにあたり、故意又は重大な過失による虚偽の記  
 記入・証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第1  
 処分の対象となることがあります。

工事内容の確認で  
 使用する様式で  
 交付申請時に作成  
 した最終版の様式  
 を使用してください

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

# 完了実績報告書（様式14の1）記入例 ＜認定長期優良住宅型・単価積上方式＞

様式14の1

信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するデジタル  
工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア使用の  
場合は、アプリ名とバージョンを記入してください。

年度	0	3	-	事業者番号				-	住宅番号				
	0	3	-	2	8	X	X	X	X	-	0	0	1

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

## 対象住宅の全景写真

複数棟ある場合はこの様式を住棟毎に1枚作成してください。

完了後	撮影日
	令和3年11月10日

工事完了後の撮影日  
を入力してください

※工事  
情報  
写真

## 対象住宅の全景写真

〇〇邸  
完了後(全景)  
R3.11.10

補助対象とした住宅の全景が確認  
できる写真としてください  
現場名、日付入の工事看板を入れて  
撮影してください

## 写真貼付け

※工事写真は、看板等により、現場名、撮影日が確認できる  
情報を写し込むこと。看板がないと工事写真として認めません。  
写真(看板を含む)を、改ざんしたものは虚偽申請となります。

- ・看板は記載内容が鮮明に確認できるものとする
- ・対象住宅の全景が分かる写真であること
- ・写真の縦・横の比率を変えないこと

### ＜留意事項＞

1. 工事写真には必ず看板を入れ、看板には現場名、撮影日を記載してください。
2. 記入等は黄色いセルの部分のみとしてください。白いセルの部分は編集しないでください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

＜認定長期優良住宅型・単価積上＞

・工事写真は全箇所必ず撮影すること。ただし、同じ工事箇所が複数ある場合は、その内3箇所程度を選定し提出すること。  
 ・工事箇所の写真が1枚で入らない場合、1枚で特定できない場合は、様式を複数枚使用して作成すること。  
 ・リフォーム工事箇所毎に、リフォーム着手前、施工中、完了後の写真が必要でです。  
 ・工事写真には看板を入れ、看板には現場名、撮影日を記載すること。また、何の工事の写真か、どこを工事したか分かるように、遠景、近景を撮影すること。

単価積上方式の場合は空欄として結構です。

事業タイプ 認定長期優良住宅型		交付時期	住棟番号	
<b>リフォーム工事箇所の工事写真</b>				
この様式はリフォーム工事箇所毎に作成してください。				
工事箇所番号	リフォーム工事箇所・工事内容	同じ工事で様式が複数枚になる時の枚数	枚目	合計枚
	1通り、い〜る間の軸組・筋交いの取付、金物取付	1	1	5
撮影日		令和3年6月10日		
<b>着手前</b>		<b>写真貼付け</b>		
着手前の写真 (遠景)  ○○邸 1. い〜る内壁撤去前 R3.6.10		マニュアル「別表-10」の工事内容に応じた撮影時期の写真の貼り付けてください。 ・看板等により、現場名、撮影日が確認できる情報を写し込むこと ・リフォーム工事の内容等が確実に分かる写真であること ・写真の縦・横の比率を変えないこと		
<b>施工中</b>		撮影日		
		令和3年7月15日		
施工中の写真 (遠景)  ○○邸 1. い〜る 軸組・筋交い・金物取付中 R3.7.15		現場名、日付入の工事看板を入れて撮影してください		
<b>完成後</b>		撮影日		
		令和 年 月 日		
工事完了後の写真 (遠景)  ○○邸 1. い〜る 軸組・筋交い・金物取付後 R3.10.15		現場名、日付入の工事看板を入れて撮影してください		

- ＜留意事項＞
1. 工事写真は全箇所必ず撮影してください。リフォーム工事箇所毎に、リフォーム工事前、工事中、施工後の写真が必要です。
  2. 工事写真には必ず看板を入れ、看板には現場名、撮影日を記載してください。また、何の工事の写真か、どこを工事したか分かるように、遠景、近景を用いて撮影してください。
  3. リフォーム工事を実施したことが確認できない場合は、補助金が交付できない、または減額となります。
  4. 記入等は黄色いセルの部分のみとしてください。白いセルの部分は編集しないでください。
- (注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

完了実績報告書（様式8の2）記入例  
 <認定長期優良住宅型・単価積上方式>

交付申請時に作成した最終版、変更に関する手続きを行った場合はその際に作成した最終版の様式を使用してください。

様式8の2  
Ver.1.0

事業タイプ	年度	事業者番号	住宅番号
認定長期優良住宅型	03-28XXXX-001		

単価積上方式による補助対象工事費の算出表

(記載上の注意)

- 『交付申請等マニュアル「別表-6 単価積上方式に係る補助対象工事の単価」の考え方』の工事内容及び単価積上方式に関する案内等を確認し、工事内容に応じて下表の該当する工事内容欄に「リフォーム工事を行う数量を入力」してください。
- 補助工事単価の定めのないリフォーム工事を実施し、増改築認定基準に適合する場合は「補助工事単価の定めのない基準適合のためのリフォーム工事」欄に増改築認定基準に準じたリフォーム工事の内容を具体的に記載してください。
- 「補助対象工事費」は数量を入力することにより自動計算されます。
- 「工事完了時建築士チェック」欄は、**リフォーム完了後にこの様式のとおり工事が行われたことを建築士の現地確認により、確認した項目にチェックを入れ完了実績報告書に改めて提出**してください。

1. 構造躯体等の劣化対策【木造】		特定性能向上リフォーム工事				工事完了時 建築士チェック欄
適用する増改築認定基準		工事内容	数量	補助工事単価 単位	補助対象工事費	
a. 外壁の軸組等	外壁通気構造化 ↳外壁通気構造化(カバー工法) 防腐・防蟻薬剤塗布 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	200.00 m <sup>2</sup>	13,200 円/m <sup>2</sup>	2,640,000 円	■適 □否	
		40.00 m <sup>2</sup>	1,800 円/m <sup>2</sup>	72,000 円		
		50.00 m <sup>2</sup>	1,800 円/m <sup>2</sup>	90,000 円		
b. 土台	防腐・防蟻薬剤塗布 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	1 箇所	240,000 円/箇所	240,000 円	■適 □否	
		6.00 m <sup>2</sup>	1,800 円/m <sup>2</sup>	10,800 円		
c.浴室及び脱衣室	ユニットバス化※ ※1 住戸1箇所のみ補助対象とし、ただし、三世代同居改修工事、子育て世帯向け改修工事と重複しての適用はしない 防腐・防蟻薬剤塗布 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	1 箇所	240,000 円/箇所	240,000 円	■適 □否	
		6.00 m <sup>2</sup>	1,800 円/m <sup>2</sup>	10,800 円		
d. 地盤	土壌処理用薬剤による土壌処理 面状散布 ※1 帯状散布 防湿コンクリートの設置※2 ※1 帯状散布の場合は数量に0.5を乗じた値を入力 ※2 「d.地盤」と重複計上しないこと 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	5.00 m <sup>2</sup>	1,500 円/m <sup>2</sup>	7,500 円	□適 □否	
		5.00 m <sup>2</sup>	5,700 円/m <sup>2</sup>	28,500 円		
		5.00 m <sup>2</sup>	5,100 円/m <sup>2</sup>	25,500 円		
		5.00 m <sup>2</sup>	9,900 円/m <sup>2</sup>	49,500 円		
		5.00 m <sup>2</sup>	1,800 円/m <sup>2</sup>	9,000 円		
e. 基礎	雨はね防止措置(芝、人工芝、砂利敷設) 雨樋新設 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	1 箇所	11,700 円/箇所	11,700 円	□適 □否	
		1 箇所	3,600 円/箇所	3,600 円		
f. 床下	防湿フィルム敷き込み+乾燥砂敷 防湿フィルム敷込(乾燥砂敷を伴わない方法を用いる場合)※1 防湿コンクリートの設置※2 ※1 乾燥砂敷を伴わない方法(等)で、防湿フィルムを固定する場合に適用 ※2 「d.地盤」と重複計上しないこと 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	1 箇所	12,000 円/箇所	12,000 円	□適 □否	
		17.700 m <sup>2</sup>	17,700 円/m <sup>2</sup>	313,290 円		
		1 箇所	22,800 円/箇所	22,800 円		
g. 小屋裏	小屋裏換気口の設置※1 軒裏有孔ボードに貼り換え 屋根換気棟設置※2 ※1 有効換気面積200cm <sup>2</sup> /箇所程度以上のものに適用し、これ以下の換気口の 場合は数量に0.5を乗じた値を入力 ※2 単位は換気等の部材設置箇所(1箇所あたり1.8m以上)とする。 換気棟の長さがこれに満たない場合は長さにより按分して計上すること 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	1 箇所	11,700 円/箇所	11,700 円	□適 □否	
		1 箇所	3,600 円/箇所	3,600 円		
		1 箇所	22,800 円/箇所	22,800 円		
h. 床下・小	検査機器用の開口の設置 ※1 同一の点検口について、「4.維持管理更新の容易性」の点検口と重複して計上しないこと ※2 点検口は、450口相当以上の大きさのものに適用する。 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	1 箇所	2,500 円/箇所	2,500 円	■適 □否	
		1 箇所	2,500 円/箇所	2,500 円		

最終版の記載情報から変更がある場合は変更に関する手続きが必要か確認するため速やかに支援室までご連絡ください。  
 詳しくはマニュアル「Ⅵ.交付申請額等の変更について」をご参照ください。

リフォーム工事完了後に建築士が現地確認等の上、最終版の記載情報のとおりリフォーム工事が行われているかチェックをしてください。



完了実績報告書（様式8の2）記入例  
 <認定長期優良住宅型・単価積上方式>

様式8の2

単価積上方式による補助対象工事費の算出表

単位：円

補助対象となる 性能向上等リフォーム工事	補助対象工事費					
	特定性能向上 リフォーム工事	その他性能向上 リフォーム工事	三世帯同居対応 改修工事	子育て世帯向け 改修工事	防災性の向上 改修工事	レジリエンス性の 向上改修工事
1. 構造躯体等の劣化対策	3,092,400					
2. 耐震性	1,396,640					
3. 省エネルギー対策	2,929,080					
4. 維持管理・更新の容易性	348,000					
5. 可変性	—					
6. 高齢者等対策	—					
インスペクション指摘事項への対応		505,050				
省エネ		267,000				
高齢者対策		0				
仮設足場	0	0				
調理室の増設			690,000			
浴室の増設			690,000			
便所の増設			300,000			
玄関の増設			147,000			
ア. 住宅内の事故防止				0		
イ. 子どもの様子の見守り				0		
ウ. 不審者の侵入防止				0		
エ. 災害への備え				0		
オ. 親子がふれあえる空間づくり				0		
カ. 子どもの成長を支える空間づくり				0		
キ. 生活騒音への配慮				0		
ク. 高齢者への備え					0	
ク(音)への備え					866,775	
その他への備え					0	
補助対象工事費の合計	7,766,120	772,050	1,827,000	0	866,775	7,200
千円未満切り捨て	7,766,000	772,000	1,827,000	0	866,000	7,000

変更がある場合、自動計算の結果が正しく反映されているか、必ず確認してください

変更がある場合、様式9に転記されているか、必ず確認してください

様式9 C31に記入 | 様式9 F31に記入 | 様式9 M31に記入 | 様式9 H11に記入 | 様式9 O11に記入 | 様式9 V11に記入

# 完了実績報告書（様式9）記入例

## <認定長期優良住宅型・単価積上方式>

記載内容に変更がある場合は提出してください。

補助対象工事が含まれる契約のみ契約額を入力してください

様式9

変更契約があった場合は契約額を追加入力し、変更契約書と内訳書、変更後の図面等を提出してください

事業タイプ 認定長期優良住宅型	交付申請番号 03-28XXXX-001	事業番号 XXXXXX	住宅番号 001
--------------------	-------------------------	----------------	-------------

### 交付申請額算出表（単価積上方式用）

※交付申請番号、様式8、8の2が未入力の場合は交付申請額が計算されません。

申請負契約等の種（消費税抜）		単位：円	補助限度額ごとに活用する住戸数	
補助対象工事費（工事費、インスペクション等）を含む契約書等の契約額を契約書ごとに入力してください。			事業タイプに応じて補助対象とする工事に該当する欄に住戸数を入力してください。	
契約の種類	契約額（円）		事業タイプ	評価基準型提案型
①: 工事請負契約（インスペクション等が含まれていても可）	16,500,000		認定長期優良住宅型提案型	高度省エネルギー型
②: ①以外の契約	380,000		性能向上のみ	
③: ①②以外の契約			加算がある場合	
④: ①～③以外の契約			三世帯同居対応改修のみ*	
⑤: ①～④以外の契約			性能向上+三世帯同居対応改修	
⑥: ①～⑤以外の契約				
⑦: ①～⑥以外の契約				
契約額の合計	16,880,000		補助対象住戸数	補助限度額の合計
			1	2,500

### インスペクション等の費用（消費税抜）

補助対象となる場合は、該当する項目の補助対象額の欄に契約書等の金額を入力してください。		補助対象額の算定		補助対象額
補助対象となる費用	契約額（円）	補助対象額の上限（円）	補助対象額の上限②	①②の何れか低い額
インスペクション費用*	100,000	150,000	150,000	100,000
リフォーム費用				
リフォーム計画の作成費用	60,000	60,000	60,000	60,000
建築士による適合確認費用*	60,000	60,000	60,000	60,000
長期認定取得に要する費用	30,000	60,000	60,000	60,000
BELS評価書取得に要する費用	50,000	60,000	60,000	60,000
建築士による工事内容確認費用**	60,000	60,000	60,000	60,000
維持保全計画書作成費用	30,000	30,000	30,000	30,000
リフォーム瑕疵保険の保険料（検査料含む）	30,000	30,000	30,000	30,000
合計（契約額のうち、インスペクション等の費用）	420,000			400,000

### 契約額から求める上限（消費税抜）

契約額に乘じる補助対象工事費率	0.80
(契約額の合計 - J1) / 1000 × 補助対象工事費率 0.8 × 補助率 (1/3)	4,389 千円

### 交付申請額の算出

項目	補助事業に要する経費	申請額算出小計
特定性能向上リフォーム工事費	C3 (様式8、8より) (千円) 7,766	E2=C3×1/3 (千円) 2,588
性能向上リフォーム工事費	F3 (様式8、8より) (千円) 772	F4=F3×1/3 (千円) 257
世帯向け改修工事費（小計）	G1 (様式8、8より) (千円) 0	G2=G1×1/3 (千円) 0
防災性の向上改修工事費（小計）	H1 (様式8、8より) (千円) 866	H2=H1×1/3 (千円) 288
レジリエンス性の向上改修工事費（小計）	V1 (様式8、8より) (千円) 7	V2=V1×1/3 (千円) 2
インスペクション等に要する費用	J3 (単位金額: J2/1000) (千円) 400	J4=J3×1/3 (千円) 133
性能向上リフォーム工事（合計）	K1=C3+F3+I1+J3 (千円) 9,811	K2=K1×1/3 (千円) 3,266
三世帯同居改修工事	M1 (様式8、8より) (千円) 1,827	M2=M1×1/3 (千円) 609
合計	11,638	

補助額上限の比較		補助額から求める上限
単価による積み上げ	契約額から求める上限	
P: F1かF2のいずれか低い額 (千円)		2,500
Q: [B]か[M2]のいずれか低い額 (千円)		500
R1=[P+Q]か[U]のいずれか低い額以下 (千円)	R2=R+J	4,52
交付申請額		S: [R1]か[R2]か[100000]のいずれか低い額以下 (千円)
		2,500

様式8の2から転記されているか必ず確認してください

補助対象事業費は増額するが、補助額を増額しない場合は、この欄は交付申請時の額を入力してください。変更がある場合様式11の「補助金の精算額」欄に転記してください

1. 消費税等は除いた額を記入してください。  
2. 千円未満は、切り捨て処理とさせていただきます。  
3. その他性能向上リフォーム工事の補助額（H2）は特定性能向上リフォーム工事の補助額（E2）を超えることはできません。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。